



たまでしょうがっこう

がつごう

玉出小学校だより 6月号

れいわねんがつにちおおさかしりつたまでしょうがっこう
令和7年5月30日 大阪市立玉出小学校

6月から、1学期も後半に入ります。気がつけば、木々の多くはもう若葉ではなく、たくましい硬い葉に変わっています。木々や草花を通して、月日の経つ早さを実感します。

さて、私たちの周りには、いろいろな言葉があり、知らないうちに、その言葉を覚え使うようになります。良くない言葉だとわかっていても、つい使ってしまうことがあります。でも、その言葉を使うのは自分自身です。6月は、「言葉遣い」を意識して生活してみてはどうでしょうか。そこで、言葉の持つ力について深く考えさせられる北原白秋の「一つの言葉」という詩を紹介します。

ひとつのことば 北原 白秋

ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで なかなおり

ひとつのことばで あたまさ 頭が下がり

ひとつのことばで こころいた 心が痛む

ひとつのことばで たのわら 楽しく笑い

ひとつのことばで な 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの心をも持っている

きれいなことばは きれいに心

やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に

ひとつのことばを 美しく

言葉は意味だけを伝えるのではありません。人に勇気を、元気を、優しさを、温かさも伝えます。そのような「ひとつのことば」を、たくさん発していける子どもたちに成長していくことを願っています。今後とも、保護者の皆様のご支援とご協力をいただきますようお願い申しあげます。

おおさかしりつたまでしょうがっこう こうちょう うえだ まさひろ
大阪市立玉出小学校 校長 上田 昌宏